

デジタル星座早見

展示場4階には「デジタル星座早見」という展示があります。もうすでにいろんな星空を見てみた、という方もいらっしゃると思いますが、ここでは改めて、この展示の楽しい活用方法をご紹介します。

まずは下側の「日時指定」ボタンを押すと、モニタ右下に日時指定ダイアログが出ますので、自分の好きな年月日時を設定してみましょう。例えば、自分の生年月日に合わせてみると、自分が生まれた日の夜にはどんな星や星座が見えていたのか知ることができます。「星座絵」や「星座線」、「星座名」などもボタンを押して出すことができますよ。また、地球上の位置(緯度)によって、見られる星や星座は異なりますが、この展示では、大阪とシドニー(オーストラリア)での星空を見ることができます。シドニーでの南天の星空は大阪とどのように違って見えるか、確認してみましょう。

また、星空の画面をタッチして月や惑星などの天体をピンチアウトすると、まるで望遠鏡でのぞいたような迫力のあるすがたを楽しむことができます。月のクレーターや木星の縞々模様、土星の環のようすなどをじっくりご覧ください。画面左側には、選択している天体の詳細情報も出ますので、合わせてご覧ください。

「現在時刻+10時間の大阪」のボタンを押すと、大阪での現在時刻+10時間後の星空に戻ることができます。



図1. デジタル星座早見
(展示場4階)

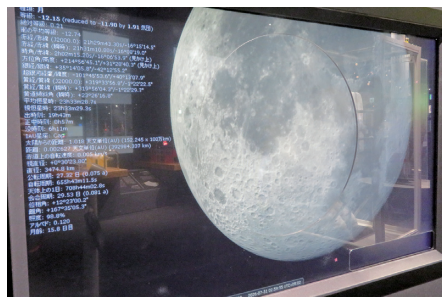


図2. 拡大した月の画像(左に詳細情報も)

西野 藍子(科学館学芸員)